

木津神地区 活動計画 P. 9~10 参照



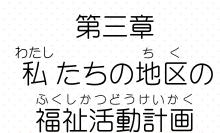
中央地区 活動計画 P. 11~12 参照



斎田地区 活動計画 P. 13~14 参照



黒崎地区 活動計画 P. 15~16 参照





桑島地区 活動計画 P. 17~18 参照



川東地区 活動計画 P. 19~20 参照



里浦地区 活動計画 P. 21~22 参照



鳴門東地区 活動計画 P. 23~24 参照



鳴門西地区 活動計画 P. 25~26 参照



瀬戸地区 活動計画 P. 27~28 参照



大津地区 活動計画 P. 29~30 参照



北灘地区 活動計画 P. 31~32 参照

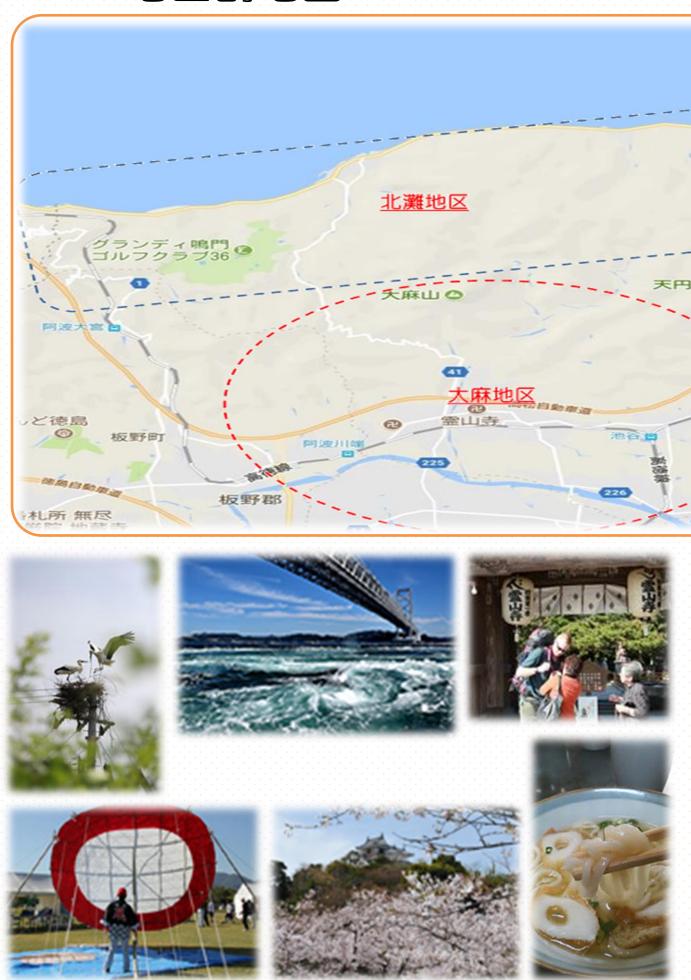


大麻地区 活動計画 P. 33~34 参照





13 地区割地図



★木津神地区の魅力

人とのつながり

親切・優しい人が多い、何事も協力的、町内会に参加する人が多い 歴史・文化

金比羅神社(わんぱく相撲大会)、長谷寺(観音踊り、銀杏の大木)、旧撫養街道 自然環境

景観がすばらしい、豊富で新鮮な食材

生活環境

市内の中心、医療機関が多い

…などなど

★座談会で出された意見

町内会組織が整っている(毎月会長さんが定例会を行っている)。

旧街道から撫養街道バイパスへ資源が移転した。

スーパーがなく、お店が少なくなってきている。最 近は、移動販売やコンビニができた。

災害時の避難場所が課題。旧テクノスクール跡地の利用や、避難の際、国道沿いを車の停める場所として使えないだろうか。 …な



木津神地区の地域課題

大項目:地域コミュニティ「若い世代の地域への参加」

●現状と課題

町内会を通した住民活動が盛んだが、だんだんとご近所づきあいも少なくなってきており、行事などの広報に苦慮しています。

世代間の交流が少なく、特に若い世代・新しい住民の参加に苦戦しています。

組織・行事の中心メンバーの高齢化・固定化が進んでおり、次の世代へのバトンタッチに不安を感じています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標	
開始期 関わり ご近所に関心を持ちましょう(挨拶・声かけからはじめましょう)。 つきあい 行事などの広報活動を再検討しましょう(SNS の活用など)。			
		行事などの仏報活動を再検討しましょう (SNSの活用など)。	
中間期	交 連 携	中年層の組織をつくり、世代間が交流・連携できる機会を増やしましょう。	
終了期	担い手づくり	お祭りの活性化(お神輿の担ぎ手を若い世代に)、地区運動会の復活など、親世代・子ども世代を巻き込んだ活動の実施に向けて検討しましょう。	

I -1 -A • B • C	地域福祉コミュニティの活性化
I -2-E	交流の場、機会づくり



大項目:子どもの育ち・子育て「地域の人たちと連携した子育て支援の仕組みづくり」

●現状と課題

支援したいと思っても、地域の子どもの情報の把握に困難を抱えています。

地域の遊び場やイベントについての情報発信に苦慮しています。

子育て世代と子育ての終わった世代との交流が不足しています。

地域と学校・児童クラブの関わりが不足しています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
		地域の子どもの情報の把握について検討しましょう。
開始期	情報	情報発信(地域の遊び場・イベントなど)について再検討しましょう。
		(回覧板だけでなく SNS などを活用)。
中間期	交 流	気軽に子育てなどの相談ができる機会や、各世代が交流できる機会(防災訓練、運動会、ス
中间期	居場所	ポーツ、草抜きなど)の提供を図りましょう。
42 7 HD	`* ##	学校・児童クラブと連携し、地域の人と子どもたちがふれあう機会の提供を図りましょう (昔
終了期	連携	遊びなど)。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策 (P. 37 参照)

I -(1)-A	地域福祉コミュニティの活性化
1 -2-E • F	交流の場、機会づくり
-①- • J	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携
III-1)-L	地域福祉ネットワークの構築



大項目: 防災・防犯「地域で支えあうまちづくりの推進」

●現状と課題

住民情報の把握・確認の必要性を感じています。

災害時備蓄品について不安を抱えています(チェック・水の確保)。

訓練がセレモニー的なものになっており、住民の防災意識の低下に不安を抱えています。

近くて高台の避難場所確保に困難を抱えています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	災害時 の体制	住民情報の把握、確認について検討しましょう。 各家庭での災害対策、ご近所への声かけなどについて啓発を図りましょう。
中間期	防災資源	災害時備蓄品のチェック体制(計画的な備蓄)について検討しましょう。 地区内の井戸の調査・図示について検討しましょう。
終了期	訓 練・避難場所	より実戦的で多世代参加の訓練の実施に向け検討しましょう。 簡易トイレの設置について検討しましょう。 避難場所の確保・整備を図りましょう。

I - 1 - A	地域福祉コミュニティの活性化
I - 2 - D	交流の場づくり、機会づくり
III - ① - K • L • M	地域福祉ネットワークの構築



★中央地区の魅力

自然環境

新池川 (夜の灯り、しだれ桜、土手・散歩道)、棒抗山からの展望、イワシ山 歴史・文化

旧撫養街道鳳鳴閣跡、事代主神社

人とのつながり

老人クラブ活動が活発、民生委員・児童委員さんが積極的に動いてくれる 生活環境

公共施設や金融機関が近隣にあり便利、大道銀天街納涼祭、うずしおふれあい公園 …などなど

座談会で出された意見

商業施設や公共施設が自転車で行ける範囲にあり便利な生活圏域といえます。

空き地や空き家、道幅の狭さ、不法投棄など都市整備の面での改善が必要になってきています。

子育て世代が多く居住しており、児童施設や子どもの遊び場を増やしていきたいと考えています。

旧街道沿いは商店等が閉店し、活気がなくなり少し寂しくなってきました。 …など



中央地区の地域課題

大項目:地域コミュニティづくり「若い世代の地域への参加」

●現状と課題

子育て世代の住民も多い地域ですが、地域との交流を望まない近年の風潮もあり自治会加入世帯も減少しており、地域と住民のつながりは希薄になりつつあります。地域のお祭りや行事の参加も少なく、地域活動の後継者不足に課題があります。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
		地域の子どもの名前を覚えましょう。
日日かんは廿日	児童との	地域の子どもたちに昔の遊びを教えましょう。
開始期	交流	地域の活動を若い世代に知ってもらうために、学校やお店に広報しましょう。
		小学校や児童クラブと連携した活動を実施し、子どもたちとのつながりを深めましょう。
三世代交 中間期 流機会の 創出		親子で楽しめる地域のイベントを企画し、個別訪問して参加を呼び掛けましょう。 空き家等を提供してくれるオーナーを募集し、夏休み工作教室やマミールームを設置しま しょう。
	6,00	子育て相談会等を企画・開催し、若い世代と祖父母世代との交流機会をつくりましょう。
終了期	集いの場づくり	誰でも利用可能な児童館をつくりましょう。 子育て中の親世代が気軽に集える場所をつくりましょう。 若い世代を中心とした地域活動を展開し、活気ある地域にしていきましょう。

I - 1 - A • B • C	地域福祉コミュニティの活性化
I - ② - D • E • F • G	交流の場づくり、機会づくり
- ① - • J	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携



大項目:子どもの育ちと子育で「地域の人たちと連携した子育で支援の仕組みづくり」

●現状と課題

中央地区は便利な生活圏域にありますが、子どもの少なくなってきており開催できるイベントも減ってきています。また、幼児を安心して遊ばせる場所が少ないことや、一時保育場所の少なさ、不登校児童等への支援体制が整っていないなど、若い世代は子育てに不安を感じています。そこで地域で安心して子育てができる環境・仕組みをつくっていきます。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
	安心して	地域内の学校行事を地域住民もサポートできるよう学校と地域との連携を深めましょう。
開始期	子育てで	地域活動を若い世代にも知ってもらえるような情報発信の方法を考え、実践しましょう。
用知期	きる環境	子どもの遊び場の確保や地域住民による見守り体制を整備しましょう。
	づくり	保育所や幼稚園と連携し、親の悩みを相談できる機会をつくりましょう。
中間期	交流支援	子育てと親の介護を抱える世帯へのサポート体制を考案しましょう。
中间期	父派又按	開始期の活動を続け、子育て支援の視点からシニア世代と親世代の交流を深めましょう。
	地域・団	地域と行政との連携を強化し、地域ぐるみで子育て支援ができる仕組みをつくりましょう。
終了期	体・行政連携体制	子育てネットワークを確立し、地域と子育て世代とで意見・情報交換する機会を増やしま
がくり、別		しょう。また講習会やイベントを開催し、交流を深めましょう。
) 连1万1400	三世代が気軽に集える場所を地域につくり交流を促進しましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策 (P. 37 参照)

I - 1 - A • B	地域福祉コミュニティの活性化	- 1 - J	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携
I - 2 - F	交流の場づくり、機会づくり	III - 1 - K • L	地域福祉ネットワークの構築

大項目: 防犯・防災「地域で支え合うまちづくりの推進」

●現状と課題

地域にはひとりぐらし高齢者世帯や高齢者のみの世帯が増えてきています。中央地区は自主防災会が中心となって幅広い年齢層の住民が炊き出し訓練等に参加するなど、防災に対する意識が高い地域です。 一方で、高齢者世帯や障がいのある方は、災害時の情報収集や避難行動が遅れる傾向があることから、地域全体で日頃から災害に備えて避難移動や避難支援体制を整えておく必要があります。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

	000000000000000000000000000000000000000		
スケジュール	取組事項	活動の目標	
開始期	呼びかけ	地域で講習会を開催し、防災訓練の重要性を互いに確認しましょう。	
用知期	啓 発	回覧板等を活用し、避難所の場所や避難経路を各家庭で確認するよう呼びかけましょう。	
	江野 公 加	障がいのある住民も参加できる防災訓練を考案しましょう。	
中間期	活動参加促進	地域の防災士を増やすため、住民に関心を深めてもらうよう啓発しましょう。	
		中高生がタバコを吸っている場所をパトロールし、防犯・防火活動をしましょう。	
		倒壊しそうな地域の空き家等の状況を確認し、処置について市に相談しましょう。	
	確認確保	地震への備えとして、地域の公共施設や児童施設、避難場所等の耐震化を確保するよう市と	
終了期		協議し、安全・安心な地域を確保しましょう。	
		各家庭を訪問し、高齢者が避難しやすい家であるか、地域の避難行動要支援者を誰が支援す	
		るかについて確認しましょう。	

	- ① - A • C	地域福祉コミュニティの活性化
10	- ① - K • L • M	地域福祉ネットワークの構築
10	- 2 - 0	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発



★斎田地区の魅力

人とのつながり

高齢者を中心とした活動が活発(友愛訪問、清掃奉仕活動など)、熱心な PTA 活動 生活環境

教育施設が多い、市の中心部で買い物に便利、交通の便良し、病院が近くにある 歴史・文化

八幡さんのおごく、御神輿巡行、上田商店のこんにゃくづくり、大道銀天街納涼祭、 鳴門市阿波おどり

自然環境

新池川の桜並木、花街道斎田、フラワーベルト

…などな

座談会で出された意見

医療機関・福祉施設が多く、病気やケガなどに対応できる環境。 市営球場やうずしおふれあい公園など健康施設も豊富にある。 避難所の岩崎神社や市営球場は高い所にあり、高齢者や障がい 者等の避難に課題がある。

地域活動の担い手が不足している。

ひとりぐらし高齢者、老々介護、徘徊、安否確認などの支援体制がなく、有償ボランティアも検討が必要。 …など



斎田地区の地域課題

大項目:地域コミュニティ「若い世代が地域活動に参加するために」

●現状と課題

人のつながりとしては、高齢者による奉仕活動等が盛んな地域ですが、一方で若い世代の地域活動への参加が少なく、今後、地域活動の担い手が不足することが危惧されます。現状では様々な世代が交流できる場所や機会が少ないので、世代間交流を促進する必要があります。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

0707W CH	グルダで状り担じこと	
スケジュール	取組事項	活動の目標
		さまざまな地域の活動を SNS や YouTube を利用して発信しましょう。
開始期	周知広報	うずしおふれあい公園で子どもの参加できるイベントを開催し、参加した若い世代や転入世
		帯等に対する地域活動の案内を行いましょう。
		サロン活動に親子も参加できるようして子育てのサポートを実施しましょう。
中間期	交 流	放課後の児童の居場所づくりに町内会も関わりましょう。
		三世代交流型のスポーツ大会など、若い世代が主体となる行事を企画・実施しましょう。
₩ 刁 畑 ウギル		町内運動会や秋祭りを地元行事として定期的に開催し、世代交流活動を定着させましょう。
終了期	定着化	また、社協や自治会への加入条例の策定も検討しましょう。

I - ① - A • B • C	地域福祉コミュニティの活性化
1 - (2) - F • F	交流の場づくり、機会づくり



大項目:高齢者の見守り・介護「高齢者世帯を見守る仕組みづくり」

●現状と課題

地域では高齢者のみの世帯やひとりぐらし高齢者が増加してますが、寝たきりや認知症等の情報がなく、見守りや支援体制が整っていない現状では、老後の生活や一人生活になることに不安を感じている現状があります。高齢者や同居する家族を地域が見守り、支援する体制の整備が必要です。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

<u> </u>		
スケジュール	取組事項	活動の目標
884//#0		町内で声掛け運動を始めましょう。
開始期	情報把握	町内でひとりぐらし高齢者等の確認を行いましょう。(訪問・回覧板等で状況確認)
	はませい / レ	地域の高齢者世帯の状況を情報化しましょう。
中間期	情報化	町内会単位で高齢者やひとりぐらしマップをつくり地域で共有しましょう。
	共 有	民生委員の補助員を地域で町内会ごとに選任しましょう。
終了期	しくみ	見守りネットワークを構築しましょう。
終り期	づくり	見守りをはじめとする地域住民の問題を地域で支援できる関係(体制)をつくりましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策 (P. 37 参照)

I - 1) - A • C	地域福祉コミュニティの活性化
- 1 - H •	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携
III - ① - K • L	地域福祉ネットワークの構築
III - ② - N • O	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発



大項目:防災・防犯「災害時要援護者を見逃さないために」

●現状と課題

住民と高校の協力体制で防災活動を実施していますが、災害時に避難行動支援を必要とする住民の状況がわからないため、こうした住民が活動に参加できていません。有事に備えて、地域でできる避難支援への対応を考える必要があります。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
		地域ごとに近い避難ルートや場所をまとめハザードマップを作成しましょう。
開始期	情報共有	地域の消防団や民生委員と避難行動要支援者に関する情報共有を図りましょう。
		避難行動要支援者のリストを作成し、隣近所で共有しましょう。
		地区(町内)の防災リーダーを決めましょう。
中間期	組織化	防災に関する地域の集会を開催し、避難行動要支援者も参加した防災訓練を定期的に実施し
中间期	訓練	ましょう。
		災害時避難行動要支援者を誰が支援するか決ねましょう。
40 7 Ha	設備・環	避難支援に必要となる援護用具を町内ごとに備えましょう。
終了期	境づくり	避難路の状況を確認し、避難支援しやすい環境整備を進めましょう。

I - 1 - A	地域福祉コミュニティの活性化
1 - 2 - D	交流の場づくり、機会づくり
III - 1 - K • M	地域福祉ネットワークの構築
III - ② - O	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発



★桑島地区の魅力

生活環境

病院が近くにたくさん存在。葬儀場も高齢者や家族の心のよりどころとなっている。 商業施設も充実、買い物に便利、交通の便良し、ボートレース場等娯楽施設もある。 歴史・文化

鳴門塩田の発祥地、秋祭りの餅投げ、桑島八幡神社

人とのつながり

隣近所や町内会が仲良し、地域の人に活気がある、牧師さんによるがん患者の心の支援活動、小学校の運動会には地域住民が参加、グラウンドゴルフが盛んに開催されている…などなど

★座談会で出された意見

商業地であり公共施設や医療・福祉施設も充実。体育館やスポーツ施設もあり健康な暮らしができるところが桑島地区の強み。

一方で、昔からあった商店などが閉店し、地域のお店を介した 人とのつながりが減ってきている。

地域で暮らす障がいのある住民に十分な情報 (特に避難情報)



桑島地区の地域課題

大項目:地域コミュニティ「世代をつなぐ地域交流」

●現状と課題

桑島地区は自治振興会や婦人会、老人クラブや桑島子ども見守り隊など地域活動が活発で、町内会長さんも近隣住民をよく世話しており、人のつながりがいい地区であるといえます。しかし、こうした活動は年配の方が中心となっており、若い世代は地域活動より仕事や家庭を優先する傾向が強まっていることもあって参加が少なく、次世代への地域活動の引継ぎに課題があります。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	交流機会 の創出	PTA 活動と地域交流とのマッチングを図りましょう。 学校・PTA・社協による世代交流活動に向けた企画や目標を協議しましょう。 学校行事に地域の高齢者が関わる機会を増やしましょう
中間期	イベント	子どもたちの独居高齢世帯への訪問、子ども見守り隊など世代間で支える仕組みを作りましょう。 若い世代も楽しめる地域行事を実施しましょう。 地域の運動会の復活を検討・実施しましょう。
終了期	集いの 場・機会 の創出	空き家等を利用し、世代を超えて住民が集える場所や拠点をつくりましょう。 休日に子どもが地域で遊べる場所を確保しましょう。 マンション住民の自治会を立ち上げましょう。 若い世代を中心とした組織体制にかえていきましょう。

I - 1 - A • B • C	地域福祉コミュニティの活性化	- (2) - N	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発
- D • E	交流の場づくり、機会づくり		

大項目:家族・地域の変化「住民を支える小地域ネットワーク」

●現状と課題

若い世代の転出や少子化に伴って地域の人口が減少しており、高齢者のみの世帯が増加しています。こうした状況は今後も進むと予測され、単身もしくは高齢者のみの世帯で介護が必要となった時の生活に支障がでてくることが懸念されます。一方でマンション等に入居してくる新たな住民と交流する機会が少ないので、転入してくる若い世代も参加したネットワークを構築し、地域住民同士が互いに支え合える地域にしていく必要があります。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

	X 7 ML OC	
スケジュール	取組事項	活動の目標
		民生委員を支える体制をつくりましょう。
開始期	基盤	自治会と行政、民生委員の連絡会を開催しましょう。
がメロギカ	づくり	ひとりぐらし高齢者への声掛けを行いましょう。
		世代を超えて集まる機会をつくり、地域の福祉活動を知ってもらいましょう。
中間期	情報発信	地域活動を若い世代に情報発信してもらいましょう。
中间期	力強化	若い世代を講師として情報発信のための勉強会を開催しましょう。
		若い世代のネットワークと地域団体活動をリンクさせましょう。
終了期	ネット ワーク	民生委員が家庭に介入しやすいよう地域住民の意識改革を図りましょう。
ボミンが		地域住民がなんでも相談しやすい環境をつくりましょう。
	構築	地域の見守りネットワークを構築しましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策 (P. 37 参照)

į	I - 1 - A • B • C	地域福祉コミュニティの活性化	- 1 -	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携	
	1 - 2 - D	交流の場づくり、機会づくり	III - ① - K	地域福祉ネットワークの構築	

大項目: 防災・防犯「次世代につなぐ、防災コミュニティ」

●現状と課題

防災訓練等は活発に実施されていますが、災害発生時における障がい者や高齢者の避難場所への対応に課題があります。また若い世代の参加も少なく、災害への備えとして次世代の世話役を育成していく必要があります。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

した物ではり間もこと		
スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	情報共有	町内に防災委員を置き、近隣住民の災害時避難用連絡網を整備しましょう。 携帯電話やスマートフォンで災害情報が迅速に受け取れるよう、周知広報を行いましょう。
中間期	避難時ネッ トワークの 構築	連絡網を活用した防災訓練を定期的に実施しましょう。 防災委員連絡会を開催し、障がい者や高齢者の避難支援を充実させましょう。
終了期	次世代の 人材育成	地域の若い世代を対象とした防災研修・講習会を実施しましょう。 地域住民に手話を覚えてもらうため、地域で手話の勉強会等を実施しましょう。

I - 1 - A • C	地域福祉コミュニティの活性化
1 - 2 - D	交流の場づくり、機会づくり
III - 1) - L • M	地域福祉ネットワークの構築



★黒崎地区の魅力

充実した生活環境

活動・イベント

幼・小運動会を地区の運動会として開催、黒崎バイパスの花壇づくり

歴史・文化

塩釜神社、八幡さんのおごく、黒崎っ子花祭り、金光山ミ二八十八か所、こども神輿 人とのつながり

安全パトロール隊による登下校時の見守り、友愛訪問、自治振興会が活発 生活環境

交通の便が良い、商業施設や医療施設が充実

…などなど

★座談会で出された意見

黒崎バイパス沿いを中心に商業施設が多くあり利便性がよい。

幼稚園や小学校、診療所や医院も多く、子どもや 高齢者にも住みやすい。

バイパスの清掃活動や立哨、自主防災活動など住 民活動が活発な地域。 …など



黒崎地区の地域課題

大項目:地域コミュニティづくり「3世代交流を大切にする地域にするために」

●現状と課題

地域のつながり意識が強く、活発に地域活動を実施している一方で、若い世代の地域参加が少なく、活動の中心はシニア世代となっています。次世代にこうした活動がつなげられるかが課題となっています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

<u> </u>		
スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	意見・情報交換	昔遊びなどをとおして幼稚園児や小学生とシニア世代の交流機会をつくりましょう。 世代ごとの価値観の違いやニーズを把握するため、パパ・ママ世代とシニア世代との意見交 換の場をつくりましょう。
中間期	若返り	すべての世代が参加できる地域のイベントを企画・実施しましょう。 行事にかかわる役員を若い世代に担ってもらい、地域住民でサポートをしながら地域活動の 担い手を育てましょう。
終了期	リーダーの 育成・拠点 づくり	子ども世代から地域活動の大切さを学べるよう、黒崎小学校と連携した地域活動を拡充しましょう。 三世代が気軽に集まり、交流できる場所を確保しましょう。

I - ① - A • B • C	地域福祉コミュニティの活性化
1 - ② - E • F • G	交流の場づくり、機会づくり
III - 2 - N	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発



大項目: 高齢者の見守り・介護「地域が見守る、ふれあいネットワーク」

●現状と課題

家族のサポートが受けられないひとりぐらし高齢者や高齢者のみの世帯が増えてきており、孤独死のリスク回避や買い物・ゴミ出し・移動などの支援を地域で取組む必要があります。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	連携把握	ひとりぐらし高齢者世帯の安否確認ができるように、民生委員や老人クラブ、近隣住民が連携して週1回訪問できる体制をつくりましょう。 ひとりぐらし高齢者へのお弁当の配布を定期的に行い、健康状態や困りごと等を地域で把握できるようにしましょう。
中間期	安否確認	自治会や町内会などで各家庭を訪問する際に、ひとりぐらしの高齢者の様子を確認できるような取組みを考案しましょう。 地域に安全・安心啓発パトロール隊を発足し、孤独死防止に向けた見回りをしましょう。 いきいきサロンを充実し、高齢者が顔を出しやすい活動をしましょう。
終了期	困りごと 支 援	有償ボランティアを利用してひとりぐらし高齢者の困りごとを解決できるような仕組みをつくりましょう。 近隣住民が乗り合わせて買い物ができるような支援について考案しましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策 (P. 37 参照)

I - ① - A	地域福祉コミュニティの活性化
II - 1) - H • I	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携
III - 1) - K • L	地域福祉ネットワークの構築
III - 2 - N	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発



大項目: 防犯・防災「地域を救う、住民の絆」

●現状と課題

安全パトロール運動や防災訓練等を行い、地域で防犯・防災に取り組んでいますが、災害時の避難 体制をより強化するために、災害に対応したネットワークを地域でつくる必要があります。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
		地域で行っている防災・防犯活動を多くの住民に知ってもらうよう周知に努めましょう。
- : - : - : - : - : -	周知	地域住民の共助への意識を向上させるため、地域の行事やイベントを通じて顔見知りをたく
開始期	情報収集	さんつくり、防犯・防災活動への参加も呼びかけましょう。
	把 握	危険箇所の情報を収集しましょう。
		地域の避難行動要支援者を地域で把握しましょう。
		災害や防犯用の住民ネットワークをつくりましょう。
	つながり	地域の役員会を定期的に開催し各町内会のつながりを強化しましょう。
中間期	の強化	災害時に頼りにできる地域のリーダーを見つけ、育成しましょう。
		社協や自主防災会と合同で防災訓練を実施しましょう。
42 → H0		町内会単位でのミニ定例会等を開催し、自治会間に格差が生じないよう防犯・防災活動の見
終了期	改善	直しをしていきましょう。

1	I - ① - B • C	地域福祉コミュニティの活性化	III - ① - K • L • M	地域福祉ネットワークの構築
	I - 2 - E	交流の場づくり、機会づくり	III - ② - O	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発

活動・イベント

公民館での文化活動が盛ん

家具転倒防止モデルハウスは TV でも紹介され、全国から見学者

自然環境

妙見山や岡崎海岸の景色はすばらしい、また妙見山は災害時の避難場所としても活用 生活環境

鳴門大塚スポーツパークがある、保育所・小中学校が近くて便利、県外へ行くのに交通の便が良い …などなど

★座談会で出された意見

鳴門大塚スポーツパークは、サークル活動やレクチャーが 行われ、地域のスポーツ活動促進の役割を果たしている。 商店街のおかげで地域外へ出なくても便利な生活が送れ るが、最近はシャッターの閉まっているお店も多くなって きた。

川が汚い。清掃ボランティアも行われているが追いついていない。地震時の液状化が心配。マンパワー不足、情報共有が課題。



…など

川東地区の地域課題

大項目:地域コミュニティ「50歳代・60歳代の地域デビューをすすめるために」

●現状と課題

住民間のつながりが希薄化し、町内会活動の停滞に危機感を持っています。

公民館でのサークル活動やボランティア活動は盛んですが、各組織・団体間の連携に課題を抱えています。さらに、町内会などの地域組織のリーダーや中心メンバーの高齢化と加入率の低下により、将来の担い手確保に不安を抱えています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

○心場ではり回じこ		
スケジュール	取組事項	活動の目標
		まずはご近所から「顔の見える関係」づくりに努めましょう。
開始期	つながり	回覧板に加えて新しい情報伝達・広報の方法について検討しましょう。
		「いつでも・誰でも」参加できるイベントの開催について検討しましょう。
	交 流	趣味のサークル・職域 OB・PTA・子ども会などと交流・連携できる機会の確保を図り、地域
中間期	連携	活動の参加につなげましょう。
終了期	担い手	壮年会(青年団と老人クラブの中間の組織)の創設に向けて検討しましょう。

0 0 77-7-17-12-7 0 7 0 7 0 7 0 7 0 7 0 7 0 7 0 7 0 7 0	
I - 1 - A • B • C	地域福祉コミュニティの活性化
I - ② - D • E	交流の場づくり、機会づくり



大項目:環境・空き家・道路「ゴミ出し・除草等のお手伝い、ゴミの不法投棄防止のしくみづくり」

●現状と課題

清掃ボランティア活動が実施されていますが、不法投棄やゴミ出しのルールの不徹底が多くなって きており対応に苦慮しています。

空き家・空き地が増加傾向で、動物による環境被害や不法投棄の要因となっています。また、防災・防犯の面においても課題となっています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
		ゴミ出し・除草等のお手伝いの需要の把握(高齢者世帯)に努めましょう。
開始期	情報把握	空き家・空き地マップの作成を検討しましょう。
		不法投棄の要因を再確認しましょう。
中間サーナイノ、高齢		高齢者世帯のゴミ出し・除草等のお手伝いを地域で行うしくみづくりに向けて検討しましょ
中間期	お手伝い	う(有償・無償ボランティア)。
%7.7±0	組織	空き家を活用し、地域での居場所にすることを検討しましょう。
終了期	づくり	不法投棄のパトロールや撤去の組織づくりに向けて検討しましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策 (P. 37 参照)

I - 1 - A	地域福祉コミュニティの活性化
II - ① - H	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携



大項目: 防災・防犯「平常時から助け合えるご近所づくり」

●現状と課題

ご近所づきあいが希薄化してきており、発災時の「共助」について不安を抱えています。 避難訓練等は実施しているが参加者の減少がみられており、内容・回数の見直しを迫られています。 災害弱者(高齢者・障がいのある方・乳幼児など)や、各世帯の何をして欲しいか・何ができるか という情報の把握に苦慮しています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	つながり	避難場所の確認・周知を図りましょう。 まずはご近所から「顔の見える関係」づくりに努めましょう。
中間期	訓練	現状の避難訓練の改善(全世代が参加できるように、夜間開催、予告なしなど)を図りましょう。
終了期	情報把握	災害弱者マップの作成について検討しましょう。 発災時に助けて欲しい・手伝って欲しいことを住民で共有できるようなしくみづくりについ て検討しましょう。

I - ① - A • B • C	地域福祉コミュニティの活性化
11-1-1-	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携
- 1 - M	地域福祉ネットワークの構築
- 2 - 0	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発



動

計

画

★里浦地区の魅力

歴史・文化

清少納言の墓、尼塚、諏訪神社の秋祭り、十二神社のお祭り、人丸神社、里浦観音寺(牡丹の寺、清少納言の祈願寺)、宝珠寺(薬師護摩祈祷会、大根たき)

人とのつながり

しきたりの強い土地柄、人情味豊か、協力をおしまない地域性

特産品・観光

灰干しわかめ、なると金時里むすめ、大根、鳴門わかめ

生活環境

里浦南防災センター、鳴門子ども学園、鳴門大塚スポーツパークが近くにある

…などなど

★座談会で出された意見

治安・防災に積極的で、消防分団や自治振興会が 活発。農漁業を生計としている家が多く、三世代 が同居している世帯も多い。医療機関や商店は地 域にあまりなく、多くの住民は地区外に買物・通 院しています。

…など

里浦地区の地域課題

大項目:地域コミュニティづくり「若い世代の地域への参加」

●現状と課題

若い世代や子どもが少なく、地域の伝統行事や隣組制の存続にも影響が出はじめてきています。消防分団員の確保も困難となりつつあり、このままでは地域活動が立ち行かなくなるおそれがあります。若い世代の地域活動への参加を促していくことが重要となっています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

0.0.% 64			
スケジュール	取組事項	活動の目標	
開始期	既存行事 を工夫	町内会活動への参加を増やすよう情報伝達手段を見直しましょう。 地域住民も参加できるような小学校行事を学校と連携して検討しましょう。 三世代が参加しやすいよう避難訓練開催時間を見直し、年一回定期的に開催しましょう。	
中間期	新規 イベント の実施	大手海岸等を利用して若い世代が楽しめる行事を企画・実施しましょう。 親子で参加できる地域行事を計画しましょう。 若い世代に地域活動に参加してもらうため、ポイント制ボランティアの導入について検討しましょう。	
終了期	次世代への伝承	子どもから高齢者まで交流できる拠点をつくりましょう。 里浦の祭りを次世代に継承するために、若い世代に活動を伝えていきましょう。 子どもも地域の話し合いに参加できる機会をつくりましょう。	

I - 1) - A • B • C	地域福祉コミュニティの活性化
1 - ② - D • E • F • G	交流の場づくり、機会づくり



大項目:高齢者の見守り・介護「高齢者の日常生活の把握と地域でできる見守り活動」

●現状と課題

子どもや若い世代が少なくなってきており、地域住民の高齢化が進んでいます。近くに商店や病院がない地域事情もあり、日常生活はもとより緊急時の対応についても多くの住民が不安を抱えています。高齢者が安心して生活を送れるよう、地域で高齢者を見守り、サポートできる体制づくりが必要です。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
		お隣とのあいさつ運動をはじめましょう。(あいさつを通じて安否確認をしましょう)
開始期	日々の	地域で高齢者の安否を確認することをひろく周知し、活動を知ってもらいましょう。
	見守り	ひとりぐらし高齢者を把握し、近所で見守り活動をしましょう。
		ひとりぐらし高齢者マップをつくり、地域全体で共有しましょう。
		郵便局や新聞販売店とタイアップして高齢者を安否確認できる体制を協議・検討しましょう。
	困りごと	民生委員と各地域活動団体、地域包括支援センター等が連携・協力して安否確認や困りごと
中間期	支援	を相談できるしくみをつくりましょう。
		困りごと解決の手伝いをする手助けグループを結成し、ニーズに沿ったお手伝い(有償、無
		償)活動をはじめましょう。
終了期	居場所	地域にサロンを増やしひとりぐらし高齢者の参加を呼びかけましょう。
だり期	づくり	子どもから高齢者まで誰でも集える場所を地域につくりましょう。



○地域の取組みを支援する市社協の重点施策 (P. 37 参照)

1 - 1 - A • C	地域福祉コミュニティの活性化	III - ① - K • L	地域福祉ネットワークの構築
II - 1 - H • I	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携	III - 2 - N	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発

大項目:移動手段「買い物・外出の支え合いづくり」

●現状と課題

里浦地区には商店や病院がほとんどなく、買い物や通院は地区外にいかなければなりません。地域バスが巡回しているものの便数が少なく、地域住民は車で移動していますが、運転できない高齢者は移動が不自由になっており、通院・買い物など日常生活に支障が生じています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
		地域であいさつ運動をはじめ、近隣の高齢者の状況を把握しましょう。
開始期	つながり	近隣の高齢者への声掛けをおこない、ついでに買ってきてあげるサポート活動をひろめましょう。
用知期	の強化	買い物に困っている高齢者には移動販売・訪問販売など情報を提供しましょう。
		地域訪問型販売の充実にむけて業者と地域とで話し合いましょう。
	あらたな	移動支援を必要とする高齢者のリストを作成しましょう。
中間期	支え合い	リストを利用して、グループで買い物や通院ができるしくみを考案しましょう。
	活動	有償ボランティアによる病院やスーパーへの送迎サービスを検討しましょう。
	サービス	地域の高齢者の意見を集約し、既存のバス路線の運行時間について市と話し合いましょう。
終了期	の検討・	地域に高齢者サポートセンターが設置できないか検討しましょう。
	協議	免許を返納した高齢者への新たな外出支援サービスが実施できないか、市と検討しましょう。

	I - 1) - A • B • C	地域福祉コミュニティの活性化	III - ① - L	地域福祉ネットワークの構築
Ī	II - ① - H	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携	III - ② - N • O	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発

★鳴門東地区の魅力

人とのつながり

住民同士があたたかく家族のようなつきあい、人情味あふれる町

特産品•観光

鳴門の渦潮、観潮船、大塚国際美術館、花見山の桜

食べ物

鳴門金時、大根、鯛、わかめ、らっきょう、鳴ちゅるうどん

自然環境

東海岸線の景色・竜宮の磯、千鳥が浜、らっきょうの花

…などなど

★座談会で出された意見

ホテル・渦潮・釣り・サーフィンスポットなど観光資源が多く連体などは賑わう。

南北に長い地区なので、大毛・土佐泊・黒山・野の集会所が防災備蓄や老人クラブ・婦人会活動の大事な拠点。 地域外に行くためには車を利用。渡船やバスはあるが車がないと不便。免許返納は重大事。

…など



鳴門東地区の地域課題

大項目:地域コミュニティ「地域活動に全世代が参加するために」

●現状と課題

地域の少子高齢化・人口減少に危機感を持っており、特に町内会、老人クラブ、婦人会といった地域のコミュニティを支える住民組織の力が低下していくが事が懸念されています。

地域のかかわりの希薄化 (中学生以上) を感じています。

若い世代が活躍できるイベント・組織づくりに課題を抱えています(将来の担い手育成)。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

		<u> </u>
スケジュール	取組事項	活動の目標
88477#0	÷ ‡c	SNS を活用したイベントや名所の広報について検討しましょう。
開始期	広 報	子どもたちに地域の魅力を伝える取り組みを考えましょう。
C 88 HQ	4 D 4th	若い世代が地域で活躍できるよう、若い世代が中心となるイベントや自治振興会青年部の発
中間期	組織	足について検討しましょう。
40 7 HD	担い手 イベント	子どもから高齢者までみんなが参加できるイベントの開催に向け検討しましょう(コミセン
終了期		まつりと鳴東まつりのコラボ、祭りの活性化、鳴門東大運動会など)。

	I - 1 - A • B • C	地域福祉コミュニティの活性化
٠	1 - ② - D • E • F	交流の場づくり、機会づくり



大項目:家族・地域の変化、地域コミュニティ、子どもの育ち・子育て 「小学校との連携・小学校の活用で地域を活性化するために」

●現状と課題

少子化が進む中、「地域から小学校がなくなってしまったら地域は廃れてしまう」との想いが強く、 小学校の存続に不安を感じています。

子育て世代の地域外への転出が多く、危機感を抱いています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

○10-37 C3X 7 旧りこと		
スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	広 報	多くの人に幼稚園・小学校の良いところを発信する方法について検討しましょう (SNS など)。
用知期	連携	小学校と鳴教大との連携について検討しましょう(大学生の地域交流体験)。
中間期	しくみ	学校行事(運動会・草抜きなど)に積極的に協力してもらえる地域協力員・学校協力員のようなしくみづくりについて検討しましょう。
終了期	づくり イベント	鳴門東大運動会の開催について検討しましょう。 空き家を子育て世代に安く貸す方法について検討しましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策 (P. 37 参照)

I - 1 - C	地域福祉コミュニティの活性化
1 - 2 - E • F	交流の場づくり、機会づくり
II - ① - J	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携



大項目: 移動手段、生活上の困りごと「外出・買い物の助け合い・支え合いのしくみづくり」

●現状と課題

バスや渡船はあるが本数が少なく不便を感じています。

自動車の利用が前提の生活で、自動車がないと不自由が生じ免許返納できない状況となっています (地域内に商店・医療機関が少なく、地域外に買い物・通院に出かけている。また、子どもが遊び や買い物に行くにも親の送迎が必要)。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	サービス	移動スーパー・生協・ネット通販の利用を勧めましょう (地域でのとりまとめも考える)。 往診・訪問看護の利用に向けて検討しましょう。
中間期	1 / 7:	有償ボランティアや NPO 団体による外出支援のしくみづくりについて検討しましょう。
終了期	めく	ミニスーパーや定期的な診療所(集会所や空き家を有効利用)の開設について検討しましょう(買い物や受診できるところを創り出す)。

I - ① - A • B	地域福祉コミュニティの活性化
- 2 - G	交流の場づくり、機会づくり
II - ① - H	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携
III - ① - L	地域福祉ネットワークの構築



★鳴門西地区の魅力

活動・イベント

消防団活動、鳴西連(阿波おどり)、ちょぼら、体操教室、公民館活動、防犯パトロール 人とのつながり

子育て世代に優しい地域、転入者も受け入れてくれる地域、子どもたちが多く元気 生活環境

鳴門ウチノ海総合公園、幼保連携型認定こども園 IZUMI、成稔幼稚園、鳴門西小学校、鳴門中学校、鳴門教育大学、渡船、国道 11 号線にアクセスがよい、きれいな街並み・・・・などなど

★座談会で出された意見

徳島市や北島町などへのアクセスがよく、若い世代の転入者が多く人口が増えている。子どもも増えていて活気がある。人の資源が豊富でボランティアをはじめ、地域活動が盛ん。大きなスーパーがないため、渡船や車を利用して町外に買い物にいく人が多い。

…など



鳴門西地区の地域課題

大項目:地域コミュニティづくり「近所の人との付き合いを深めるために」

●現状と課題

転入世帯が増えてきていますが、町内会に加入しないなど地域のつながり意識が希薄化している状況がみられます。近隣のつきあいを深めながら、地域住民が一丸となって活動を広げていきたいと考えています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

○地域で取り回むこと		
スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	出会いを つくる	近所で声掛けや挨拶を交わす運動をはじめましょう。 転入してきた住民にも地域の活動や情報を知ってもらうため、広報活動を強化しましょう。 子どもたちが積極的に地域と関わる機会をつくりましょう。
中間期	ふれあい を増やす	近所のひとりぐらしの高齢者への声掛け運動をひろめましょう。 学校と連携して町民運動会を開催するなど、近隣者どうしのつながりが深まるイベントを企 画しましょう。
終了期	助け合う	地域の人材バンクを構築し、困っている近隣者のお手伝いができるような仕組みをつくりましょう。 寺小屋的な学習会をひらき、子育てや子どもの学力向上を地域で支えましょう。 誰もが気軽に立ち寄れて集える場所を地域につくりましょう。

I - 1) - A • B • C	地域福祉コミュニティの活性化
1 - ② - E • F • G	交流の場づくり、機会づくり



大項目:生活上の困りごと「買物や外出に困っている方に地域でできる支援を考えよう」

●現状と課題

バスや渡船などは便数が少なく、車を運転できないと買い物や通院などの外出に不自由が生じます。 特に高齢者世帯では免許証を返納したあとの生活に不安を感じている現状があります。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	調査	外出に困っている方がどれくらいいるのか、どんな支援を望んでいるのかを調べましょう。
用知期	把 握	地域の人が利用できるサービスやボランティアについて調べましょう。
		地域の高齢者等を対象としたパソコン教室やスマホ教室を開き、ネットを利用した買い物が
	しくみづくり	できるよう支援しましょう。
中間期		買い物や移動を手伝ってくれる組織をつくりましょう。
		有料移送サービスや商品購入のお手伝い等、外出に困っている住民を地域が組織的に支援す
		る仕組みを考えましょう。
	+e =c	若い世代にも外出・買い物支援を手伝ってもらえるようなコミュニティをつくりましょう。
終了期	場 所	地域住民が集い、日常品や食料も買えるようなコミュニティカフェを運営できないか検討し
	コミュニティ	ましょう。

1

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策 (P. 37 参照)

I - 1) - A • B	地域福祉コミュニティの活性化	- 1) - K • L	地域福祉ネットワークの構築
1 - 2 - D • G	交流の場づくり、機会づくり	III - 2 - N	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発
II - ① - H • J	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携		

大項目:高齢者の見守り活動「高齢者世帯を地域全体で見守り支えるためにできること」

●現状と課題

地域で暮らすひとりぐらしの高齢者が増加してきています。孤立死の防止のための安否確認や、認 知症高齢者の見守りなど、地域で高齢者を支えるネットワークや活動が必要になっています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	きっかけづくり	市や市社協と連携して地域の認知症サポーターを増やしましょう。 自治会や学校・幼稚園から発信基地として、地域全体のあいさつ運動をひろめましょう。 ご近所を知るためのキャンペーン活動を考案・実施しましょう。
中間期	ニーズ・ サポート	高齢者が困っていることを周りに意思表示できる「鳴門西へルプカード」の導入を検討しましょう。 高齢者のみの世帯やひとりぐらし高齢者世帯を把握している民生委員の活動を支援するサポートメンバーを見つけ、養成しましょう。 子どもたちも参加した見守り運動をはじめましょう。
終了期	場 所 づくり	子どもから高齢者まで、誰でもいつでも気軽に集える場所を開設しましょう。



- 1	I - 1) - A • B • C	地域福祉コミュニティの活性化	III - ① - K • L	地域福祉ネットワークの構築
	1 - 2 - D • F	交流の場づくり、機会づくり	III - 2 - N	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発
	II - ① - H • I	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携		

★瀬戸地区の魅力

人とのつながり

昔ながらの住民と新しい住民の間に対立がない、一旦仲良くなると親密さ絶大 歴史・文化

大元神社の秋祭り、阿波井神社、瀬戸節踊、信仰心が厚く先祖を大切にする 食べ物

新鮮な魚、島田島のみかん、わかめ

自然環境

島田島の古代ハス、島田島スカイライン、魚釣りの聖地

…などなど

▲座談会で出された意見

地域によっては施設・病院は少ないが、NPO・いきいきサロン・親子ひろばなどの活動が盛ん。お墓も交流の場所となっている。

食料品を売っているお店が少なく野菜が手に入らない。 移動販売はあるがボランティアだけでは解決できない。 商店・病院は明神に集中。堂浦・北迫・島田は過疎化・ 超高齢化という二極化。 …な



瀬戸地区の地域課題

大項目:地域コミュニティ「高齢者が安心して暮らせる街づくり」

●現状と課題

住民活動が活発で住民同士のつながりが強い地域ですが、もう少し親密にご近所づきあいがしたい、世代間のコミュニケーションをとりたいと考えています。

高齢者が暮らしやすくなるためには若い世代の力が不可欠と考えていますが、地域の高齢者世代と 子どもや子育て世代との交流機会が少ない現状にあります。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	健康情報	健康で長生きできるよう日常生活の工夫に努めましょう。 高齢者の情報を把握しましょう。 地域の団体の広報や趣味のサークルの結成について検討しましょう。
中間期	機 会 づくり	若い世代の地域活動への参加・協力につなげるため意見を聞く機会を設けましょう。
終了期	組 織 居場所 づくり	空き家などを利用した居場所づくりについて検討しましょう。 青年団の再結成に向けて検討しましょう。

1 - 1 - A • B • C	地域福祉コミュニティの活性化
1 - 2 - D	交流の場づくり、機会づくり
	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携



大項目:移動手段 「助け合いで繋がる移動支援」

●現状と課題

NPO・いきいきサロンなどの活動が盛んですが、商店・金融機関・病院などの資源が少ない地域事情があります。

公共交通機関についても不便を感じており、車の利用ができなくなった場合の地域での助け合いの 必要性を感じています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	情報	移送サービスの情報をまとめ、各家庭に周知しましょう。 いきいきサロンを情報交換の場として活用しましょう。
中間期	つきあい	乗り合わせやついでに買ってきてもらえる関係づくりに努めましょう (ご近所づきあいを大切にしよう)。
終了期	しくみづくり	歩いて買い物に行ける場所(あおぞら市場・販売所)の創設に向けて検討しましょう(地域の方が作って余った野菜などを売る)。 有償ボランティアのしくみづくりについて検討しましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策 (P. 37 参照)

I - 1) - A • B	地域福祉コミュニティの活性化
II - 1) - H • J	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携
III - ① - L	地域福祉ネットワークの構築



大項目:地域コミュニティ 「地域で安心して暮らす為の見守り体制づくり」

●現状と課題

ひとりぐらし高齢者や高齢者だけで生活している世帯が増えてきています。高齢者が安心して暮らせるよう、地域で安否確認や見守りなど、高齢者を支える体制を整えていく必要があります。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標	
		地域で活動している人・組織(民生委員・老人クラブ・婦人会・サロン・町内会など)の情	
開始期	情報	報発信に努めましょう。	
		回覧板制度の見直しについて検討しましょう。	
中間期	把握	若い世代・退職してすぐの世代の地域活動への参加・協力につなげるため意見を聞く機会を	
中间别	10 1座	設けましょう。	
終了期	連携	自治会・社協・民生委員・老人クラブ・婦人会・ボランティア団体などの連携を強化し、見	
限の意	上	守り体制の強化に努めましょう。	

I - 1 - A • B • C	地域福祉コミュニティの活性化
1 - 2 - D	交流の場づくり、機会づくり
III - ① - K • L	地域福祉ネットワークの構築
III - ② - N	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発



人とのつながり

特産品・観光

梨・れんこん・鳴門金時の全国的な産地(肥沃な土地・高品質)

歴史・文化

大幸若宮八幡神社の楠、大代古墳、神社のお祭りにアイドルが参加 自然環境

自然災害が少ない、コウノトリが飛んでくる

…などなど

★座談会で出された意見

神社やお寺、フルーツやコウノトリのスポットとして有名。商店・介護施設・警察・避難場所などが東の方に集まっている。

車に頼る生活で車がないと動けない。移動手段は 今後の課題。高速道路に避難所がある。渦潮高 校・四国機器にも防災グッズや備蓄品が置いてあ る。子どもの遊び場が少ない

…など



大津地区の地域課題

大項目: 地域コミュニティ「地域のつながりを再構築するために」

●現状と課題

住民のつながり(新旧住民・農家と非農家・世代間など)の希薄化を感じています。

若い世代・子育て世代の地域活動への参加が少なく、将来的に地域活動の後継者の確保に危機感を抱いています(伝統行事の存続など)。

農業においても後継者不足に課題を抱えています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
		隣近所のあいさつ運動に努めましょう。
開始期	つながり	若い世代の参加を促すためアンケート調査の実施に向けて検討しましょう。
		地域活動の PR・お知らせの発信方法を再検討しましょう (SNS など)。
中間期	交 流	家族で参加しやすいイベント(フリーマーケット・町民運動会など)の開催に向けて検討し
中间别	文 加	ましょう。
終了期	+1117	大津地区ならではのイベント(ジャンボ農作物大会・神輿・獅子舞など)の開催に向け検討
終り期	担い手	しましょう (将来の担い手の育成)。

I - 1) - A • B • C	地域福祉コミュニティの活性化
I - ② - E	交流の場づくり、機会づくり



大項目: 移動手段「移動手段確保(買い物・通院等) のしくみづくり」

●現状と課題

公共施設・商店・医療機関・福祉施設が地域の東に集まっており、車を利用して地域外の資源を利用している住民も多い状況にあります。

核家族やひとりぐらし高齢者・免許証返納者が増える中、交通の便が悪く、買い物・通院等において移動手段の確保が課題となっています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標	
日日かん甘口	健康	高齢になっても自分の足で活動できるよう健康づくりに努めましょう。	
開始期	情報把握	地域に移動困難な人がどの程度いるのか、情報の把握を図りましょう(マップの作成など)。	
中間期	サービス	移動販売や往診などのサービスを地域に呼ぶことを検討しましょう。	
終了期	しくみ	隣近所の御用聞きのしくみやボランティアによる移動手段確保のしくみづくりについて検討	
だり期	づくり	しましょう。	

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策 (P. 37 参照)

1 - 1 - A	地域福祉コミュニティの活性化
II - 1 - H • I	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携
III - ② - O	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発



大項目:防災・防犯「平常時からの「互近助(ごきんじょ)」づくり」

●現状と課題

住民には地震や津波に対する危機感はあり、実戦的な訓練を実施したいと考えていますが、積極的な訓練参加者が少ないことが課題となっています。

防災知識や避難場所・避難所について住民に周知・理解が不足していると感じています。

消防団等の後継者・地域内のネットワークなど、組織体制に課題を抱えています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

00% CM 7/11 8CC		
スケジュール	取組事項	活動の目標
コカカ つながり 平常時からのご近所づくりに努めましょう (まずはあいさつから)。		平常時からのご近所づくりに努めましょう (まずはあいさつから)。
開始期	情報把握	ひとりぐらし高齢者等の情報の把握・共有について検討しましょう。
中間期 周 知 名家庭での防災活動(情報収集・備蓄など)をすすめましょう。		名家庭での防災活動(情報収集・備蓄など)をすすめましょう。 避難場所・避難所の確認と周知について検討しましょう。
終了期	しくみづくり	より多くの住民が参加できる訓練について検討しましょう (内容・日程・回数など)。 地域全体のネットワークづくりに向けて検討しましょう。

I - 1 - A • C	地域福祉コミュニティの活性化
II - ① - J	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携
III - ① - M	地域福祉ネットワークの構築



画

★北灘地区の魅力

歴史・文化

葛城神社(目の神様・お練り・獅子舞)、伝統あるお祭り(北灘祭・折野の祭り)、鬼骨寺 人とのつながり

自治振興会や老人クラブ・婦人会活動が盛んで住民のつながりが強い、世話好きな人・人情味豊かな人が多い、団結力がある

食べ物

北灘特産渦潮鍋、新鮮で美味しい魚介類、わかめ、婦人会の「焼肉のたれ」 自然環境

きれいな夕日と海、うずしおロマンティック海道、豊かな自然、美しい海と山の自然景観…などなど

★座談会で出された意見

自治会や老人クラブ、婦人会やボランティアなどの 活発に活動してくれる住民によって北灘地区は支え られている。

学校や医療施設、金融機関、商店はないが、食事ができるところは多い。

若い世代が少ない。働く場がないので地区外に働きにでていき昼間は不在になりがち。 …など



北灘地区の地域課題

大項目:地域コミュニティづくり「若い世代の地域への参加」

●現状と課題

人のつながりが強い地域で地域活動も活発です。しかし少子化や若い世代の転出等により地域の人□が減少し高齢化しています。地域活動や伝統行事を維持・継承していくためには若い世代に地域参加を促していく必要があります。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標		
開始期	交 流 づくり	公民館を拠点として囲碁・将棋教室等を定期的に催し、子どもたちとシニア世代との交流を増やしましょう。 カラオケ大会やグランドゴルフなど三世代で楽しめる地域のイベントを企画しましょう。 SNS などを活用して、地域のイベントやお祭りの情報を広く発信し、若い世代へ参加を呼びかけましょう。		
中間期 イベント 地域でサポートして開催しましょう。		地域活動団体と若いグループとの交流機会を増やし、地域の活性化にむけた話し合いを増や		
終了期 活性化 若い世代が魅力を感じ、北灘地区に住みたし 提供や若い世代の担い手づくりについて検討		空き地や空き家等を利用して地域住民が交流できる場所をみつけましょう。 若い世代が魅力を感じ、北灘地区に住みたいと思えるような地域にするため、空き家の無償 提供や若い世代の担い手づくりについて検討しましょう。 サイクリングロードの事業企画を利用して、若い世代と地域との交流を深めましょう。		

		1 O D C	カンスクログノク 燃合ベノク
	地域福祉コミュニティの活性化		父流の場つくり、機会つくり
1 1 (1) A - D - C	1 地域個性コーユーノ 1 りかにはし		父爪の场フトリ、饿五フトリ

大項目:地域コミュニティづくり「見守り活動で孤立をなくそう」

●現状と課題

北灘地区は地域活動がさかんで、支え合い精神が豊かな地域ですが、子どもや若い世代の人口が少なく、また家屋が密集していない集落もあり、特に高齢者や障がい者世帯が孤立する危険性が高まっています。社会的な孤立は生きがいの低下や消費者被害を招く大きな要因となるため、こうした住民を地域で見守っていく必要があります。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
		近所の方を集めて定期的にお茶会を催しましょう。
	声かけ	村人声掛けあいさつ運動を始めましょう。
開始期	集い	定期的にひとりぐらし高齢者宅を巡回できる地域活動を企画しましょう。
	. 未 () !	地域住民が集まりやすい場所(公民館、お店、学校施設)を利用して高齢者のサークル活動
		をひろげましょう。
		民生委員や町内会で協力して、地域のひとりぐらし高齢者マップを作成しましょう。
中間期	連携	近隣同士で緊急連絡先を共有できるよう地域で話し合いをしましょう。
中间期	連絡	新聞配達業者や検針員等に協力を求め、気になる世帯の情報を地域に連絡してもらうしくみ
		をつくりましょう。
松之中	新たな見	若い世代や子どもでもできる見守り活動を考案しましょう。
終了期	守り活動	ひとりぐらし高齢者同士が連絡しあう取組みを検討しましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策 (P. 37 参照) **1**

I - 1 - A • B • C	地域福祉コミュニティの活性化	III - ① - K • M	地域福祉ネットワークの構築
II - 1 - H	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携	III - 2 - N	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発

大項目:移動手段「買い物・外出の支え合いづくり」

●現状と課題

地区内に商店や金融機関はほとんどなく、医療機関もありません。バスの運行便数も少ないため、地域住民は生活関連サービスと移動手段に不便を感じています。特に運転ができない高齢者は家族のサポートがないと、通院や買い物のための外出ができず生活に支障がでるため、解決方法を考えなければなりません。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	お手伝い 活 動	移動販売業者に依頼して、移動販売を活用した買い物支援を地域で拡大・充実させましょう。 隣近所で相乗りして外出や買い物を支援する活動について検討しましょう。 運転のできる住民が、外出するついでに近隣の高齢者が要望する商品等を買ってくるお手伝 い活動をはじめましょう。
中間期	協力体制	高齢者がネット通販を利用して買い物ができるように、地域でサポートしましょう。 移動支援を目的とするボランティア活動団体のたちあげ、高齢者とボランティア団体との連 絡調整等について検討しましょう。
終了期	協議交渉	家からバス停までの移動を支援する方法について、バス・タクシー会社等と交渉しましょう。 地区で買い物ができる簡易スーパーの開店や空き家を利用した商店の再興について検討しま しょう。

I - 1 - A • B • C	地域福祉コミュニティの活性化
1 - 2 - F • G	交流の場づくり、機会づくり
11 - ① - H	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携



歴史・文化

大麻比古神社、四国八十八ヶ所(一番札所霊山寺・二番札所極楽寺)、お接待の心、ドイツ館(ドイツとの交流)、第九アジア初演の地、桧の獅子舞、大谷焼、賀川豊彦記念館人とのつながり

みんなやる気・元気・根気がある、女性が強い、自治会活動に協力的 自然環境

コウノトリ、大谷川(桜並木・蛍)、旧吉野川、大麻山

…などなど

★座談会で出された意見

大麻比古神社、一番・二番札所、ドイツ館、第九アジ ア初演の地などすばらしい名所を抱える。

町内に大型の商店が少ないのが課題。他の地域に買い物に行く。

地区社協・民生委員・町内会・老人クラブ・婦人会・子ども会など人の資源が豊富。

町内の福祉施設・高齢者施設と地域との交流が盛ん

…など



大麻地区の地域課題

大項目:地域コミュニティ「若い世代の地域への参加」

●現状と課題

自治会や老人クラブ・婦人会・子ども会などの地域活動が活発な地域だが、若い世代の地域活動への参加・協力に課題を抱えており、世代間・世代同士の交流の機会を持ちたいと考えています。 地域活動やお祭りなどの伝統行事の存続について後継者の確保・育成に危機感を持っています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

○心場ではり回むこと		
スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	情報	若い世代が目にする方法での地域活動の周知方法について検討しましょう(インターネット・SNS など)。 若い世代の意見を聞く機会を設けましょう(座談会・ニーズ調査など)。
中間期	交 流	若い世代同士が交流できる機会・イベントの創設に向けて検討しましょう(ママ友向けなど)。
終了期	担い手	子どもから高齢者まで全世代が参加できるイベントの創設に向けて検討しましょう(既存のイベントの活用も)。 次世代の人材育成を図りましょう(若い世代のリーダー・伝統行事の後継者)。

I - 1) - A • B • C	地域福祉コミュニティの活性化
1 - ② - D • E	交流の場づくり、機会づくり



大項目:地域コミュニティ「高齢者や障がいのある方とのつながりを深めるために」

●現状と課題

地域内には高齢者施設・福祉施設があり、地域と祭りや芋掘り、運動会などを通した交流が盛んだが、施設だけでなく増加傾向にある地域のひとりぐらし高齢者や認知症の方、障がいのある方とも 交流し理解を深めたいと考えています。

地域内には何かあったときに対する不安を抱えているひとりぐらし高齢者もいます。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
88九八廿日		高齢者・障がい者の情報把握を図りましょう(名簿・マップ作成など)。
開始期	情報把握	あいさつから始め顔見知りになれるよう努めましょう。
中間期	理解	高齢・障がいへの理解を深めるため、勉強会や施設見学会を開催しましょう。
ヘルプカード(自分がお手伝		ヘルプカード(自分がお手伝い出来る事を表示)のしくみづくりについて検討しましょう。
終了期	しくみづくり	誰もが気軽に集える場(カフェのような)づくりについて検討しましょう。
		アンケート調査(地域でどれだけ理解や周知が進んだか)の実施に向けて検討しましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策(P. 37 参照)

I - 1 - A • C	地域福祉コミュニティの活性化
1 - 2 - D • F	交流の場づくり、機会づくり
II - ① - J	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携
III - 1 - L	地域福祉ネットワークの構築
III - 2 - N • O	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発



大項目:生活上の困りごと「一人ひとりの困りごとをみんなで解決できるためのネットワークを作ろう」

●現状と課題

個人主義・他者への無関心化が進み、昔ながらのおせっかいや世話役、キーパーソンが少なくなってきており、地域のつながりの希薄化を感じています。

つながりの希薄化により、「困ったときに助けを求めることができないのでは…」と危機感を抱いています。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	つながり	隣近所の交流を密にする(あいさつ運動から)。 困りごと・悩みごと投書箱の設置に向けて検討する。
中間期	情報	サロンやイベントの参加について分かりやすい周知に努める。 社協・民生委員・老人クラブなど地域の組織間で情報交換できる場づくりについて検討する。
終了期	居場所 づくり	子どもから高齢者までが集い、過ごせる居場所づくりについて検討する(多目的広場的なもの、使用しなくなった施設の利用)。 移動式困りごと相談室の設置に向けて検討する。

I - 1 - A • C	地域福祉コミュニティの活性化
- 1 - H • • J	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携
III - ① - L	地域福祉ネットワークの構築
III - 2 - N	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発

